

1月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|---|--------------------|
| 1 | 日 時 | 平成31年1月25日(金) | 午後3時00分から午後4時52分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
秋元富敏委員 青島美子委員 鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 秋野雅彦教育部長、藺田欣也教育総務課長、山本敏治教育総務課参事兼学府一体校推進室長、加藤計吾児童青少年政策室長、木野吉文学学校給食課長、小澤一則学校教育課長、伊藤八重子中央図書館長、高梨恭孝文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、水谷美すゞスポーツ振興課長、大庭茂文化振興課長、鈴木都実世幼稚園保育園課長、栗田恵子福祉課長 | 傍 聴 人 0人 |

(進行委員：秋元富敏委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

みなさんこんにちは。大変お忙しい中、1月定例教育委員会にご参集いただきましてありがとうございます。昨年の象徴する文字は災害の「災」でした。ことは、明るくすばらしい年になりますようお願いしているところであります。

先日開催されました、平成最後の成人式にご列席をいただき、ありがとうございました。大きな事件、事故もなく、これまでにない大変落ちついた成人式でありました。ここ十数年になると思いますが、特別支援教育が充実し子どもたちの周りを取り巻く大人たちの考え方や見方が変化し、教師や保護者の対応の仕方が、向上したと考えています。そのことから、二十歳の子どもたちの落ちつきが、つくられていると考えています。それと同時に、成人式や各行事に列席して思うことは、どのお子さんも過保護ではなく、大切に育てられていると思います。昔は子どもの数が多くて、ほったらかしの場合が多く、兄弟が小さい子の世話をするのは当たり前という家庭が多かったのではないのでしょうか。大切に育てられていると、人は優しさを持つことができるようになりますが、たくましさに欠ける面があります。特に今の磐田市で学府一体校構想を推進していますが、その重要な柱として、「たくましい磐田人」を育てることが改めて必要なことであると考えています。

昨日、ラグビーのヤマハ発動機ジュビロの清宮監督、堀江キャプテン、鈴木代表が来庁されました。清宮監督は今限りでヤマハ発動機ジュビロを退任されますので、退任挨拶も兼ねておいただきました。数多くの実績を残され、日本のトップに導いたことはすごいことであると改めて思います。最終戦も、ベテラン、若手がバランスよく活躍し、感動的な試合になったようです。清宮監督との話の中で、以前新聞記事に載っていた「15センチの選手の動き」ということに触れました。清宮監督から、最終的に「15センチまで意識できることは、私の誇りであった」という言葉が返ってきました。あれだけ広いグラウンドの中で、あんなにも体の大きい選手が15センチを意識してプレイさせたことが、勝負の分かれ道であり、その統率力こそが監督の凄さではないかと感じました。引き続き、清宮監督の活躍をお祈りし、ヤマハ発動機ジュビロが優勝できますように応援をしたいと思います。

今日は、サッカーのジュビロ磐田がキャンプ地である鹿児島に向かい出発しました。本庁舎前で市長をはじめ、大勢の市民の皆さんと壮行会を行いました。名波監督以下、選手の皆さんは誰一人インフルエンザにもかかることなく元気に鹿児島へ出発して行きました。市長から、「今年は、は

らはらせないように」ということと、「小学生一斉観戦での勝利をぜひとも届けてほしい」と言葉がありました。今の小学6年生は勝利の場面を何も見ずに卒業されてしまうという話もありましたが、今年はぜひとも頑張っていたきたいと思います。個人的には、ACLというアジアのクラブチームのリーグ戦に出場してほしいと思っています。

先日は卓球の日本選手権がございました。水谷隼君の活躍は素晴らしかったです。去年、張本君に負けて、悔しい思いをしました。彼の優勝は、単なる優勝ではなく、歴史的快挙であると思います。戦い方を常に研究し、昨年の準優勝からの復活は本当に素晴らしいと思いました。美誠さんも3冠、2連覇という偉業をやったのけました。自分の成長を振り返り、彼女のコメントの中に、「私、強くなったんです」という言葉がありました。そう言えるということ自体、すごいことだと改めて思いました。新聞の記事に「磐田の誇り」と書かれていましたが、私は日本の宝であると思います。引き続き、東京オリンピックに向けて全力で応援していきたいと思っています。

今月の27日には磐田市健全育成大会がございました。力を合わせ、心を合わせ、ともに頑張っていけるようによろしくお願いします。

<質疑・意見>

なし

3 前回議事録の承認

12月21日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

2月の市議会の関係ですが、2月15日から3月18日までの会期で開催される予定でありまして、平成31年度の予算、平成30年度最後となる補正予算や、条例改正などの議案が審議される予定です。

教育委員会関係の提出案件は、本日の議題にあるとおりですが、とりわけ補正予算では小中学校エアコンの設置費用が約16億円、来年度の当初予算では、ながふじ学府一体校の建設費等で約31億円と、前年度に比べてかなりの増額となっております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。また、本日は一般質問関係の報告はございません。

<質疑・意見>

なし

5 議事

(1) 議案第1号 平成31年度磐田市教育行政に係る一般方針の策定について

○平成31年度磐田市教育行政に係る一般方針の策定について、御説明します。なお、磐田市の教育の概要リーフレットについて、関連がございますので、あわせて説明をさせていただきます。資料「平成31年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業」になりますが、今回、修正した箇所は赤と青で記載したところになります。赤は事務局での1回目の修正、青は2回目の修正分になります。平成31年度の教育委員会の目標につきましては、11月の定例会において協議事項として委員の皆様へ御意見を伺い、引き続き「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」となりま

す。その目標を達成するための3つの方針についても、変更はございません。

施策は先日当初予算内示がありましたので、各施策の具体的な事業を平成31年度版に反映した形にしてあります。なお、方針2の施策2の「子どもを健やかに育む地域づくり」につきましては、いただいた御意見を踏まえ、社会人も含めた施策であることをイメージできるように、青少年健全育成を追記してございます。

次に、磐田市の教育の概要リーフレットについて主な修正箇所の説明になりますが、教育長のメッセージを更新しました。それから、教育委員の皆様からのメッセージ欄になりますが、こちらはいただいたメッセージの内容に更新をしていきます。それから、写真につきましては、集合写真から個人の顔写真に変更をしてあります。この写真については、お体の部分を減らすなど、業者においてトリミングを行い、全体のバランスを考慮し最終的に決定する予定でございます。

次に、先般いただいた御意見を参考に、わかりやすさを意識した表示、記載にしてあります。例えば、現在進めている主な事業のうち、「2 現在進めている主な事業」の⑧では、ICTを活用することにより授業のわかりやすさや楽しさがイメージしやすいような表現にしました。

最後に、本日欠席の杉本委員から事前に幾つか御意見をいただいておりますので、その内容とその反映案について、御説明をしたいと思います。

これまでに進めてきた主な事業になりますが、ここに「学校運営協議会が位置づけられた旨を加えられないか」との御意見がありました。磐田市教育委員会では、全校をコミュニティスクールに指定したことに独自性、先進性があります。また、ここでは、全小中学校をコミュニティスクールに指定としてありますが、学校運営協議会はコミュニティスクールの指定を受けた学校には必ず設置されるものであることから、このコミュニティスクールの後に「(学校運営協議会制度)」を追加し、この表記方法を文科省と同一にしたいと思っております。

次に、現在進めている主な事業について、「実施年度を表示したらいかがか」という御意見をいただきましたので、こちらに平成30から平成31という形で今後追記していきたいと考えています。

次に、「特別の教科道徳を小学校は平成30年から、中学校は平成31年から実施を入れられないか」という御意見をいただきましたが、道徳の教科化は磐田市独自の施策ではなく、全国共通のことであるため、掲載は見送ることとさせていただきたいと考えています。

最後に、「S.P.E.A.K. project」のところですが、こちらに「平成32年度を見据えた新たな英語教育を実施していくため、小中学校を通じた英語教育の充実強化を進めると記載できないか」との御意見をいただきました。こちらの記載内容につきましては、これまでに進めてきた主な事業の中に、小1から中3までの英語モデルカリキュラム作成ということで、平成25年度に実施した内容になりますが、これを小学校低学年に対する英語モデルカリキュラムの実施として、現在進めている主な事業の「S.P.E.A.K. project」のところに併記し、再掲する形を考えています。修正事項の主な箇所は以上でございます。

<質疑・意見>

○平成31年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業ですが、図書館や文化財課の具体的な事業をわかりやすい表現で入れられたら良いと思います。例えば、施策4の文化財課の箇所には、訪問歴史教室などを記載したらどうかと思います。今の記載内容だけですと、少しわかりにくいと思います。もう少し市民から見てわかりやすい表現ができれば、市民の方の理解が得られるのではないかと感じました。

○担当課と協議して、より具体的な事業や記載の方法を検討させていただきます。

○委員からいただいた意見は可能な限り反映させたいと思います。なかなか全てを網羅することは

できないと思いますが、表現の工夫などわかりやすい形にしたいと思います。

○具体的な事業を記載するとしたら、その事業以外にもたくさん実施していますので、「等」や「など」という表現を入れたほうが良いと思います。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第1号は原案どおり承認された。

(2) 議案第2号 平成31年度磐田市一般会計予算(教育費関係)の要求について

○教育費につきましては、磐田なかよしこども園整備事業などの減額はあるものの、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業や中学校施設整備事業などの増額、小中学校新規事業で小中学校トイレ環境改善事業の増によって、前年度比23億5,009万6,000円の増となり、91億2,939万8,000円の計上となっております。

各費目の前年度予算との比較増減は一覧のとおりです。事務局説明につきましては、平成31年度教育委員会所管主要事業説明書に記載の順に従い、地域づくり応援課から順次行ってまいります。説明は所属ごとに行い、委員の皆様からの質疑は全課の説明が終わってから一括してお願いしたいと思います。

○教育費関係の事業として、交流センター等施設管理事業、地域活動支援事業、生涯学習推進事業がありますが、新規事業等はございません。予算額の合計が今年度と比較して、2,599万3,000円の増額となっておりますが、これは事業の概要にもあるとおり学習等供用施設竜洋会館の解体工事費の単年度増額分が主な理由となっております。詳しい説明は、後ほど議案第4号並びに第5号の条例・規則の廃止の中で経緯等について説明をさせていただきます。

そのほかは、大きな変動はございませんが、事業の所管変更ということで生涯学習推進事業の中のユネスコ協会補助金が、平成31年度より教育総務課の予算に計上され、学校教育課での事業執行となります。

○体育施設整備事業その他体育施設事業は、社会体育施設と学校体育施設の社会体育利用の管理・運営に係る経費で、平成31年度は6億4,170万5,000円を計上しています。主な内容としましては、指定管理施設並びに市直営施設の運営委託料、施設の修繕・工事費です。31年度は、磐田市総合体育館の東面外壁改修とアミューズ豊田のメイン及びサブアリーナの屋根の改修を予定しています。ながふじ学府一体校の施設整備に伴いまして、豊田加茂グラウンド、豊田加茂テニスコート、豊田野球場の3施設については、部活動で使用することとなり、学校施設完成までは社会体育利用と併用していきます。

次に、市民スポーツ活動支援事業、スポーツ教室等開催事業です。31年度は3,560万1,000円の予算を計上しています。スポーツ推進委員、体育協会などによる教室・大会など生涯スポーツの振興を推進します。平成31年度は磐田市体育協会への補助金について、マイクロバスを活用したスポーツ振興を図るようその購入に係る費用の一部を交付するため増額となっております。

次にジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業ですが、31年度で9回目の開催となります。事業内容に前年度と大きな変更点はありませんが、事業効果を高めるため応援DVDの作成や確保する座席位置の配慮に係る経費分の株式会社ジュビロとの委託料が増加しています。次の開催は、5月18日土曜日を予定しており、ベガルタ仙台戦です。昨年に引き続き、保護者・ボランティアの協力をお願いしていきたいと考えています。

次に、地域スポーツクラブ事業ですが、31年度は県からのモデル事業としての委託期間3年間で踏まえ実施体制の見直しを行いまして、種目についてはこれまでと同様の陸上競技部とラグビー部の2種目を継続して実施していきます。また、これまで実施してきた単発の体育教室、体験教室を定期的な活動として部活として実施する仕組みを検討していきます。今後、生徒が減少していく中で、教員の負担軽減と生徒のスポーツ機会の充実が図られるよう磐田市の学校部活全体のあり方について、教育委員会や各関係機関と協議をしながら引き続き検討を行っていく予定です。

次に戦略的スポーツイベント活用事業ですが、2019年にはワールドカップ、2020年東京オリ・パラの世界規模の大会を迎えまして、スポーツを活用した情報発信やブランド力の強化、地域の活性化を図るため、キャンプ地誘致やスポーツイベントの開催を通じて、スポーツのまちづくりの推進を図り、創意工夫により積極的なシティプロモーションを行います。31年度は、ラグビーワールドカップの開催年であり、掛川市と合同による3カ国のキャンプ地としてこの上に係る経費として警備運営委託料を計上したため、増額となっています。磐田市は、ヤマハ発動機ジュビロの本拠地でありまして、ラグビーも県下において盛んな市であるため、機運醸成を図り、市民の心に残る事業となるよう工夫しながら事業展開していきたいと考えています。

○文化芸術振興事業ですが、当初予算額3,730万2,000円を計上しております。磐田文化振興会が市民文化の向上及び振興を図るために市内のホールや各会場においてコンサート等を開催する事業の補助を行うものです。事業の例示として、今年度5月5日のN協コンサートがありました。そこに、中学生の吹奏楽部の子どもたちを招待する事業です。平成31年度より、文化振興会の主な利用ホールが、市民文化会館の貸館停止に伴い、なぎの木会館となりますので、それに合わせた規模の事業を行うように企画していくことから、減額が発生しております。

次に、文化芸術活動支援事業で、729万1,000円を計上しておりますが、磐田市文化協会への補助金と、磐田市芸術祭の開催を文化協会へ委託するものです。

次に、青少年文化芸術活動育成支援事業ですが、2,071万5,000円を計上しています。これは、小学生のジュニア3バンドと呼んでおりますが、なぎの木金管バンド、アミューズJr.ブラス、磐田Jrマーチングバンドの育成と各学校に楽器の指導者の派遣を行っている事業です。今年度の増減の主な要因は、磐田こどもミュージカルの2年に1度の修了公演の年にあたり、この金額が増になっています。

次に、香りの博物館施設管理事業、4,375万2,000円は指定管理の委託料に伴うものです。香りの博物館は香りそのものもそうですが、年4回企画展等を開催しており、集客の増につなげています。

○福祉課では、人権啓発推進事業ということで、教育委員会の関連として、人権教育関係事業について説明いたします。事業としましては、人権教育推進協議会や、人権教育講演会などになり、予算額は昨年度とほぼ同様の内容で計上しています。この人権教育の事業以外に、ふれあい交流センターでの人権同和事業や人権擁護委員と連携し、人権啓発の事業を展開しています。

○磐田なかよしこども園整備事業ですが、平成30年度の事業名につきましては、(仮称)中泉こども園整備事業として実施してまいりました。平成29年度から事業立てをして取り組んできている事業でございますが、新しい園名が今年度11月議会で議決され、決定したことから、事業名を変更し、継続して実施してまいります。平成30年度末には園舎が完成し、31年4月から新園舎での保育が開始されます。31年度については、現在の磐田西幼稚園の園舎解体と外構整備を実施してまいります。8月末には全体の工事が完了し、2学期からは全ての工事が完了した環境の中で保育を実施していく予定となっております。

次に幼稚園トイレ環境改善事業ですが、平成 31 年度の新規事業となります。幼稚園及び幼稚園型認定こども園の洋式トイレに暖房便座を設置し、幼児教育環境の充実を図る目的で実施をしております。幼稚園 61 基、幼稚園型認定こども園 21 基、計 82 基を暖房便座とするものでございます。工事につきましては、平日の保育日は避け、土日、祝日等を利用し、できるだけ早期完了を目指し進めてまいりたいと考えております。なお、保育園等につきましては、3 款の保育園費へ計上し、同じ内容で進めてまいりたいと思っております。

○教育委員会事務局事務になります。使用料賃借料につきましては、事務負担の軽減と予算の効率的な執行を行うため、学校への配当予算科目から本科目へ事務局へ予算計上を変更する形にしております。

次に、小・中学校配当予算についてですが、前年度との変更点として、予算を積算方式に変更しました。平成 30 年度までは配分された予算の範囲内で校長裁量により支出ができるいわゆる枠配分方式により予算配当していたものを、学校において必要なものを事前に洗い出し、それらを積み上げていき必要な予算を要求するという積み上げ方式に変更いたしました。学校側の要求に対して、教育総務課で現地確認やヒアリングを行い、要求内容の必要性などを確認した上で学校間の均衡を考慮しつつ、1 次査定をする形で今回予算編成を行いました。

次に、小・中学校施設整備事業ですが、昨年度に引き続き体育館照明 LED 化工事や下水道接続工事などを実施するための予算を計上しております。

次に、新規事業の小・中学校のトイレ環境改善事業ですが、既存の用便器を暖房便座に改修し、児童・生徒の快適性の向上を図るために予算を計上したものです。内容的には、幼稚園保育園課と同様のものになります。

○新たな学校づくり整備事業になりますが、主な事業として、7 台の学府バスを運行するための業務委託料、5 台分のリース料となっています。また、向陽学府一体校推進に向けた、地元の皆様への説明会やワークショップ等を開催するための報償費、需用費等も計上しています。

次に、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業ですが、平成 33 年 4 月の開校を目指していよいよながふじ学府一体校の建設工事がスタートします。予算額としては 31 億 4,502 万 7,000 円を計上しています。今年度にまとめました実施設計に基づき、来年度から 2 年間の予定で建設工事を実施します。子どもにとっても、地域にとっても魅力ある学校となるよう関係機関と連携を図りながら進めていこうと思っております。

○放課後児童クラブ運営事業についてですが、予算額は 1,291 万 8,000 円の増額となりました。これは、入所児童数の増加が見込まれますので、支援員数の増員や新たに民間施設を借りることも想定し、賃金や借家料が増額となったことが主な要因です。

○豊岡学校給食センター施設管理事業では、調理室の空調設備改修工事などの実施により、前年度比 537 万 2,000 円の増額です。この豊岡センターに限らず、市内 3 つの給食センター、15 の単独調理場とも施設や設備機器の老朽化が課題となっております。

次に、単独調理場等学校給食施設管理事業では、今年度の 9 月から調理、洗浄業務を民間委託化した東部小学校の委託料が平年化すること等により、前年度比 2,094 万 9,000 円の増額です。

なお、調理洗浄業務の委託期間が終了する富士見小、竜洋東小、竜洋中について、9 月からの委託に向け新たな業者選定を実施していきます。

○市費負担教員給与費ですが、これについては小中一貫教育に 10 学府に 10 名、不登校等生徒指導の充実に 2 名、言葉の教育指導員の給与費 6 名ということで、人数については特に増減はありません。増減の主な理由としては、部活動や修学旅行等の場合の手当額を今までの実態からより精査し

た関係で、減額して要求しました。

続いて、外国人児童生徒適応事業ですが、外国人児童生徒の増加に伴い、J S L サポーターの増員をさせるための予算が主な予算要求となっています。

続いて、学習支援事業ですが、昨年度の増減の大きな違いは、とよおか学府の道徳研究指定を本年度から2年間継続で行っていて、昨年度補正対応したものを、本年度は当初から予算計上したことにより、185万7,000円の増額をしております。また、平成30年度はそろばん・食育・道徳学習に加え、プログラミング学習のための講師謝金を新たに要求しております。

続いて健康診断事業ですが、小・中学校、小学校でいう108万5,000円を、中学校では128万5,000円を増額しました。主な理由として健康診断の際に利用する高圧蒸気滅菌機の稼働年数が多くの学校で対応年数を超えていたことがあり、安全性に問題があることから、買い替えを計画的に行う関係で、今年度予算を要求しました。

次に、中学校教材等整備事業ですが、主な増減の理由としては道徳の教科化により、中学校において特別な教科道徳が新たに実施されることに伴い、道徳教育のための指導書等が新たに必要になることから、195万円を増額して要求いたしました。

最後に、中学校コンピュータ教育推進事業ですが、主な増減理由としては、平成28年度に策定した磐田市学校情報化推進計画に基づき、平成31年度は主に中学校3年生と特別支援教室の大型モニター及び書画カメラの整備のための費用として2,042万5,000円の増額、アクセスポイントの取りかえ費用の213万9,000円を要求しました。なお、参考までに小学校の大型モニターと書画カメラについては、先の計画に基づいて、平成30年度で完了しております。

○施設管理費ですが、4館の施設管理費の合計が7,244万7,000円です。各館の予算額は記載のとおりです。前年度との比較増減の主要因は、臨時職員の最低賃金改定等による増額、中央図書館の駐車場ラインの引き直し、シャッター等の修繕費の増額などです。次年度に向けては、生涯学習の拠点施設として事業を推進し、一層の情報発信を図っていききたいと考えております。

次に、資料整備費ですが、4館合計で3,254万6,000円です。前年度との比較要因には、資料収集に関する中央図書館と地区図書館の役割を明確化し、厳選した資料収集の徹底を図ることによる減額と、中央図書館に新たに英語多読及び健康医療情報コーナーを設置することに伴う増額があります。次年度の課題としては、各図書館の特色づくりを進め、限られた資料費の中で厳選した丁寧な選書に努め、利用の拡大を図っていききたいと考えております。

最後に、子ども読書活動推進事業ですが、114万3,000円です。平成28年度に策定いたしました第3次磐田市子ども読書活動推進計画に基づいて業務推進を図ってまいります。前年度との比較減額要因は、ブックスタートの実施主体が「にこっと」に変更となったことに伴い消耗品等の需用費が減額となりました。次年度の課題としては、「にこっと」と連携してブックスタートを実施し、親子が触れ合う機会を持つことの大切さを啓発して、引き続き子どもの読書活動の推進に努めていききたいと思っております。

○遠江国分寺跡整備事業についてですが、現在、再整備を進めているところで、来年度におきましては、樹木整備や史跡の公有地化、史跡としての地位化して、整備に係る実施設計など行う予定です。史跡の公有地化、史跡としての追加指定につきましては現在進めているものは、31年度に完了する見込みですが、新たに公有地化等ができる場合は、対応をしていききたいと考えております。整備事業が本格化する中、より具体的な対応が必要となりますので、文化庁や県、関係する団体等とも協議を進め、事業を確実に進めていききたいと考えております。

次に、歴史文書館施設管理事業ですが、予算額は900万円程度で、そのうち8割以上が人件費と

なっており事業に係る経費は少額ではありますが、歴史的公文書や地域資料を収集、整理し、市民共通の財産として保存・活用を図ることを目的として事業に取り組んでいますので、紹介をかねて説明をさせていただきます。歴史文書館の業務は、大きく分けて2つあります。1つは、非現用文書、これは保存年限を過ぎた公文書で、将来的に歴史的公文書としての価値を有すると思われる文書を対象として、受け入れ、選別、保存をするものでございます。来年度から、新たに電子決済文書の受け入れが始まりますので、現在総務課や情報政策課など関係する部署と詳細について詰めているところでございます。もう1つは、古文書などの地域資料で、昨年12月末で9万998点を保存しております。地域資料に関しましては、企画展の開催、レパレンス業務、講師の派遣などの事業を行っていますけれども、これらの事業を通じまして、歴史文書館の役割を広く市民の皆さんに伝えることで貴重な古文書の散逸を防いでいきたいと考えております。

<質疑・意見>

○体育施設整備事業のアミューズ豊田メイン・サブアリーナの屋根の改修の内容を教えてください。
○メインアリーナとサブアリーナの金属の屋根部分について平成31年度に実施します。この改修により屋根の改修が終わる形となります。

○ながふじ学府の新たな学校づくりの総事業費は、どのようになっていますか。

○今のところ総事業費は67億円程度を見込んでいます。

○総事業費には建設費用以外の備品なども含まれますか。

○備品はまた別枠になります。

○例えば、理科室の机やモニターは備品となりますか。

○モニターは備品に含まれ、理科室の机は建設費に含まれます。理科室の机などの水道管やガス管などの配管、配線等が関係するものは建設工事の中で実施します。

○文化財課の歴史文書館の企画展が2回から1回になったのはなぜですか。

○1回の開催となった理由ですが、歴史文書館は、いろいろな地域の地元で眠っている資料が寄贈され、職員が解説をし、それが磐田市の歴史にとってどのような意味があるのかという調査・研究をするという大きな目的があります。その成果を企画展として市民の皆さんに還元するというのが歴史文書館としての大きな役割だと考えています。今の企画展の様子を見ると、年2回の企画展をなんとかこなすために、少し無理に収集や焼き直しをして開催しているところが見られます。限られた職員で、専門的な知識がないと務まらないことですので、本来の歴史文書館としての役割を担うために、開催回数を減らし、今ある資料をもっと調査・研究をして、新しい成果を発表していくこととしたためです。年1回でもたくさんの集客ができる工夫をしていきたいと考えています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第2号は原案どおり承認された。

(3) 議案第3号 平成30年度磐田市一般会計補正予算（教育費関係）の要求について

○事務局説明につきましては、この資料の記載の順で教育総務課は私から一括して行い、委員の皆様からの質疑は説明が終わってから一括してお受けしたいと思っております。なお、回答につきましては、各課からさせていただきます。

それでは、歳入から説明いたします。15款2項2目観光施設整備事業補助金は、磐田北幼稚園跡地駐車場の整備工事に係る県費補助金で、整備工事の入札差金が生じたことからその不用額の減額

に伴い、減額するものです。

次に、21 款 1 項 7 目幼稚園建設事業費事業債（仮称）中泉こども園整備事業は、磐田なかよしこども園の建設工事に係る財源を合併特例債として設定しているもので、今回の補正は平成 30 年度と平成 31 年度の 2 カ年工事となっている新園舎建設工事の進捗状況に基づき、その支払い割合を変更し、平成 30 年度分の支払いを減額したことにより財源となる合併特例債の歳入額も減額するものです。

次に、14 款 2 項 6 目冷房設備対応臨時特例交付金は、国の予算の採択に伴い上程するものです。

次に、15 款 2 項 8 目緊急地震津波対策等交付金及び 20 款 5 項 5 目公益財団法人静岡県市町村振興協会交付金は、学校施設防災機能強化事業の実績による精算をするもので、それぞれ減額となっております。

次に、21 款 1 項 7 目合併特例事業、小学校施設整備事業、中学校施設整備事業は、学校体育館の照明 L E D 化工事の実績による精算として減額、また小・中学校へ空調設備を設置するための増額をするものです。なお、歳入の補正予算資料を差しかえさせていただきましたのは、この小・中学校への空調設備設置に伴う記載につきまして、当初は全額合併特例債を活用する予定でしたが、国から補助金をもらう関係で、国との協議の中でこの合併特例債事業と学校教育施設等整備事業債、こちらを併用するようというような指導があったために、このように変更させていただいたためです。

次に、20 款 5 項 5 目学校給食費保護者負担金は、4 月から 11 月までの給食提供数の実績及び 3 月までの見込みに伴う減額で、人数の減や台風等による欠食、学校行事などにより給食が営業できなかったことによるものでございます。

次に、14 款 2 項 6 目文化財緊急調査費補助金、史跡等保存整備費補助金は、市内遺跡発掘調査及び遠江国分寺跡整備事業に係る国庫補助金がそれぞれ査定により減額になったことにより、減額するものでございます。

次に歳出、10 款 4 項 1 目磐田北幼稚園跡地整備事業です。これは、磐田北幼稚園跡地駐車場の整備工事に係るもので、歳入の際にも御説明しましたとおり、工事費に入札差金が生じたことからその不用額を減額するものです。

次に、幼稚園施設整備事業は、主に公立幼稚園の施設整備にかかわるもので、今回の補正は主に統合により利用しなくなった福田中幼稚園と、南御厨幼稚園の園舎解体工事費の入札差金が生じたことから、その不用額を減額するものです。

次に、（仮称）中泉こども園整備事業は、磐田なかよしこども園の建設工事に係るものですが、歳入の際にも御説明したとおり、主に新園舎の建設工事に係る進捗状況により各年度の支払い割合を変更するため、減額するものです。

次に、10 款 1 項 2 目職員給与費は、退職者数の増加に伴い増額するものです。

次に、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業は、委託料に関し、ながふじ学府一体校整備基本実施設計業務委託の入札差金及び、ながふじ学府一体校整備に伴う土地利用申請書等作成業務委託の不用額が生じたために減額するものです。

次に、10 款 2 項 1 目及び 10 款 3 項 1 目、小・中学校の施設整備事業は、下水道接続工事や体育館照明 L E D 化工事の入札差金等の不用額を減額するものです。なお、豊岡中学校の体育館の L E D 化工事は、本年度施工方法を具体的に検討する中で、施工期間が不足するため取りやめたもので、改めて平成 31 年度に実施いたします。

次に、小・中学校施設空調設置事業は、国の冷房施設対応臨時特例交付金の採択を受けまして、

小・中学校の普通教室に空調設備を設置するための事業費を増額するものです。なお、空調設備に関連する補正予算の事業費につきましては、繰越明許費の事項別明細書になっておりますが、執行機関の不足により全額を平成 31 年度に繰越しをして実施する予定でございます。

次に、10 款 1 項 3 目学校給食事務は、臨時職員に係る賃金等について、東部小学校の調理等業務の民間委託化などに伴い、臨時調理員が減員となったことにより減額するものです。また、学校給食センター及び単独調理場食材調達事業は、歳入の学校給食費保護者負担金の減額と同額を減額するものでございます。

次に、10 款 5 項 2 目市内遺跡発掘調査事業補助及び遠江国分寺跡整備事業については、先ほど歳入で御説明させていただきましたが、国庫補助金の減額に対応するため委託内容の見直し等を行った結果、減額するものです。また、遠州豊田 P A 南地区発掘調査事業については、委託内容を精査した結果、委託料が減額となったことなどから減額するものです。

< 質疑・意見 >

○空調設備の件で、国からの交付金や市の費用の負担割合、工事手法について教えてください。

○事業費の 3 分の 1 が補助の基準額になっておりますが、実際のところ交付されるのは 2 億 3,000 万円程度の額になり、実質的に 3 割は公交付されない形になっております。交付の算定は工事を行う面積等や、国の定めた基準と照らし合わせ、いずれか低い金額が適応され交付額が決定されます。残りの費用は市が負担します。

○補助については複雑な仕組みになっており、直接的な国の補助は 3 分の 1 ですが、合併特例債という有利な借金を利用すると、その借金に対して交付金が入ってくるような仕組みもあります。

○工事の手法にはリース方式、P F I 方式、直接施工方式などがあります。合併特例債の利用などを踏まえ、総合的にもっとも効率的な工事の手法ということで、今回は直接施工方式を採用しています。直接施工方式は、市が計画の策定、設計、施工管理を行う手法となります。

< 議案の承認 >

一同同意

審議の結果、議案第 3 号は原案どおり承認された。

(4) 議案第 4 号 磐田市学習等供用施設竜洋会館条例の廃止について

(5) 議案第 5 号 磐田市学習等供用施設竜洋会館条例施行規則の廃止について

○予算説明のときに触れましたが、竜洋・掛塚にある学習等供用施設竜洋会館の老朽化に伴う閉館により、条例と規則を廃止するものです。

これまでの経緯を説明させていただきます。この学供会館となったのは、昭和 53 年に防衛施設庁の補助対象に採択をされたことがきっかけとなり、地域に開放された生涯学習施設という位置づけで、学供会館が計画され、昭和 55 年に完成しました。その後、30 年近くたって大分老朽化が進んだことと、磐田市の公共施設の見直し計画等が策定され、当初の地元への説明は再配置を含めて検討することで行ってまいりました。

平成 22 年に、耐震工事費の試算等を行い、建替えか、再配置かという議論も大分されたようですが、耐震工事費が 6 千万円近くかかるという試算が出ており、結果的に再配置という方針で地元で説明をしてきました。利用団体や関係自治体の関係者等に説明を数回にわたり行いましたが、平成 30 年までしか耐震がないことを説明しても、地元では取り壊しは困るという意見が多く、使用期限を切れずにいたということです。昨年度、有事の際に危険性があってはいけないということで、

安全面を考慮し、平成 30 年度で閉館する告知をさせていただきました。

1 月 18 日に最終確認として、地元自治会や利用団体の代表者等に説明会を実施し、概ね地元としても、「耐震がないのであればしょうがない」ということで、了解をいただいております。利用団体の中には、竜洋の掛塚のお囃子の練習等でも使っている団体があり、代替施設が欲しいという要望がありましたので、その対応を検討していきますという回答をさせていただいています。

<質疑・意見>

○掛塚のお囃子の練習場はどのようになっていますか。

○今は竜洋西小学校の協力で教室や、なぎの木会館、竜洋交流センターを利用しています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 4 号、議案第 5 号は原案どおり承認された。

(6) 議案第 6 号 磐田市体育施設に関する条例の一部改正について

○現在、豊田加茂テニスコートの改修工事を実施しているところですが、これにより平成 31 年 4 月 1 日よりこれまで 2 コート整備されていたハードコートの形状が、人工芝コートに変更となることから、人工芝コートの新たな利用料金を追加し 2 区分とします。これは、予定されているながふじ学府新たな学校づくり整備事業に伴い、建設工事期間中、豊田中学校グラウンドの代替施設として部活動で利用することから、生徒のけが等への負担を軽減するため、全 4 面コートのうち、ハードコート 2 面を人工芝コートに改修することによるものです。

続いて改修の要旨ですが、第 19 条関係の別表第 3 の 12、テニスコートの表中、豊田加茂テニスコートは、単一の料金となっております。これを、人工芝と土の 2 区分とし、土のコートについてはこれまでと同様の金額を設定、人工芝については新たな区分として 8 時半から 12 時まで及び 18 時から 21 時 30 分までを 1,580 円、13 時から 17 時までを 1,810 円として、利用料金を設定するものです。

続きまして、影響等についてですが、平成 29 年度の利用実績から年間 47 万 4,000 円の増を見込んでいます。なお、施行期日は平成 31 年 4 月 1 日となっています。

<質疑・意見>

○テニスコートの質によって使用料が異なりますが、何か基準がありますか。

○平成 27 年、28 年にかけて、財政課にて公共施設全体の使用料の見直しを行った中で、その施設に掛かる経費により、ランクを設けて算出しています。なお、一時間あたりの使用料は、クレーコートが 180 円、ハードコートが 240 円、人工芝コートは 420 円、屋内人工芝は 760 円となります。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 6 号は原案どおり承認された。

(7) 議案第 7 号 磐田市小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正について

(8) 議案第 8 号 磐田市立小・中学校処務規程の一部改正について

○議案第7号、磐田市小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正についてです。第4条及び第4条関係において県の人事委員会の勧告に伴い、本市の市負担教員の条例についても改正するものです。第11条及び第11条関係についても、県の教職員の特殊勤務手当に関する条例と規則が改正されたことから、磐田市費負担教員の特殊勤務手当を見直し、改定するものです。

議案第8号、磐田市立小・中学校処務規程の一部改正については、勤務環境改善に向けた取り組みを学校経営書に記載するように県教育委員会の指示があるために、第10条の2（8）勤務環境改善に向けた取り組みに関することを追加するものです。これは、働き方改革を受け、先生方の勤務環境のことにについて、学校経営書等に記載することで周知を図るものです。

県の職員の勤務時間、休日・休暇等に関する条例の一部改正に伴い、第25条に子育て部分休業を追加するものです。

<質疑・意見>

○子育て部分休業について説明をお願いします。

○子育て部分休業というのは、たとえば、毎日9時まで休業ができる制度です。しかし、学校現場のほうの負担がかなり大きくなりますので、請求者と慎重に協議をする必要があると考えます。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第7号、議案第8号は原案どおり承認された。

6 報告事項

（1）地域づくり応援課

○磐田市成人式について補足説明します。教育委員の皆様には、各会場に主催者として列席していただき、ありがとうございました。私は今回豊岡の会場へ行かせていただきまして、本当に穏やかで、アットホームな雰囲気のもと、良い成人式だったと感じました。全体では1,621人の対象者のうち77.7%で1,259人の出席者がありました。来年度の成人式会場は、市民文化会館を使って行う最後の年となり、5会場での開催を予定しています。平成33年以降は新しい市民文化会館ができるまでの間、どのような運営をするのか、特に磐田会場は検討の余地があると考えます。

それとあわせて、2022年に18歳が成人となった場合の、成人式のあり方をどうしたら良いのかは、正直まだ全く考えが及ばない状況で、各市町でもいろいろ探り合いの状態です。今後の方向性について検討していきたく考えています。

<質疑・意見>

○市民文化会館は、来年9月までしか貸館はしないということですが、成人式は使用するということですか。

○一般向け貸し出しは9月までですが、成人式は市民文化会館で実施します。

○18歳成人の問題で、他の市は二十歳を祝う会として行うとニュースになっていました。

○現実、高校生を1月の時期に集めるのは難しいと思います。18歳に成人式をやる必要があるのかないのか今後検討を行い、二十歳を祝う会のような、今までどおり20歳になったら会を開催するものが定着していくのではと考えます。

○18歳の対象者には、法的な観点から、成人の意味をしっかりと高校教育や、職場の中などできつ

ちりと理解させことが大切であると考えます。

(2) 幼稚園保育園課

○2月2日、3日になりますが、市内の公立幼稚園とこども園の園児たちが書いた絵画展が例年開かれていて今年度も開かれ、作品は200点ほど展示される予定です。今年度も文化振興センター1階フロアで朝9時から、土曜日は夕方5時まで、日曜日は午後4時に終了という予定で開催されます。

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

<質疑・意見>

なし

(4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

○静岡県磐田市費負担臨時的任用教員の勤務条件とする要綱の一部改正ですが、いわゆる特殊勤務手当の条例、それから静岡県教職員特殊勤務手当に関する規則の改正がされたことによって、磐田市負担臨時的任用教員の特殊勤務手当を見直し、改正するというものです。

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

○今年度第2回の図書館協議会を開催いたしました。協議会委員10名中7名の出席により会は成立し、傍聴者はいませんでした。本年度の事業進捗状況の報告と協議を行い、「にこっと」の状況報告もありました。電子書籍サービスのデモなどによりまして、活動の理解を深めていただけたのではないかと考えております。

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

<質疑・意見>

○寺谷の企画展を現在開催していて、新聞に大きく紹介されていました。ぜひ御確認いただけると

ありがたいです。

7 協議事項

なし

8 その他

○磐田なかよしこども園の関係で、園名が決定された経緯について教えてください。

○11月議会報告ということで、前回の教育委員会において教育部長からもお話がありましたが、園名につきましては閉園する両園の園児・保護者、小学校、地域の皆様から公募をし、幾つか案が出てきた中で、ほかの市内にある教育保育施設と類似する名前を避けるなどして、園名を選んでいきました。その中で、最終的に数が多かったのは、「なかよしこども園」ということになり、議会上程し議決をいただいたところです。また、公募をする前段階の説明で、同じ中泉地区に中泉保育園がありますので、それと混同するような名前は避けるということで公募を行った経緯があります。

なお、今回11月議会に上程する前に、地域の皆さんにこの案で議会に上程しますということの説明をしていなかったということで、おしかりを受けたところがございます。今後子どもたちが4月から新しい園で保育をしていくということで、本当に地域の皆様の協力が必要だと思っております。先日中泉地区の自治会長会議に伺い、今までの経緯をお話させていただいき、皆様に御理解いただけたと思っております。

○磐田市青少年健全育成大会が1月27日に磐田市民文化会館で開催いたしますので、教育委員の皆様もぜひ御来場いただければと思います。

当日は、磐田市消防団のラップ隊のファンファーレで開会し、その後、教育長の開催趣旨説明や、3組の事例発表、それから、健全育成について講話を市長からいただきます。

○いわた俳句大会が、2月9日の13時から、ワークピア磐田で行われます。選者の先生、高校生、大学生が自分たちで作成した俳句を題材に、意見交換を行うパネルディスカッションが開催されます。かなりおもしろいと思っておりますので、ぜひいらしていただければと思います。

9 次回教育委員会の日程確認

○定例教育委員会

日時：平成31年2月20日（水） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会